

在宅医療における医療の質の評価および患者の QOL の向上に関する研究

鄭 丞媛

新見公立大学 健康科学部 地域福祉学科 准教授
(助成時：国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部 研究員)

【ポスター1】

現在日本では、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めております。その中で、中心的医療サービスの一つとして在宅医療が推進されております。

在宅医療は、病院医療では対応困難な病気を対象にして、その人の最期までを支える医療です。そのため、従来の病院医療の質の評価の延長線で語ることは難しいとされております。

【ポスター2】

そこで本研究では、在宅医療の質の評価指標の開発に向けて、科学的根拠を得ることを目的とし、医師や看護師を中心とした在宅医療従事者が重要であると認識している在宅医療の質の評価項目について検証を行いました。

【ポスター3】

本研究は大きく3段階のプロセスで行っております。

まずは、先行研究の検討と在宅医療の専門家との検討会を通して、在宅医療の質に関連する項目を設定し、そこで設定した項目を用いてパイロットテストを行い調査票を作成しました。

作成した調査票を用いて、全国在宅医療支援診療所連絡会に登録されている診療所901カ所と全国訪問看護事業所の中から200カ所を標本抽出して、それらを対象に専門家の意識調査を行いました。

ポスター1

背景

- 地域包括ケアシステムの中心的医療サービスの一つとして**在宅医療**を推進
- 在宅医療は、病院医療では対応困難な病気を対象とし、その人の最期までを支える医療であるため、従来の病院医療の質の評価の延長線で語ることは難しいとされている

ポスター2

目的

- 在宅医療の質の評価指標の開発に向けて科学的根拠を得ることを目的
- 在宅医療従事者が重要であると認識している在宅医療の質の評価項目について検証

ストラクチャー、プロセス、アウトカムからなる51項目の調査項目を用いて、因子分析を行いました。対象者は532人でした。

【ポスター4】

結果です。

まず、回答者の基本属性です。医師が385人で72.4%、看護師が24.6%でした。男性が約70%です。年齢は、50代以上が約70%でした。そして、在宅医療従事年数は10年から19年が41.6%で最も多かったです。

【ポスター5】

次は、在宅医療従事者の意識調査の記述統計の結果です。

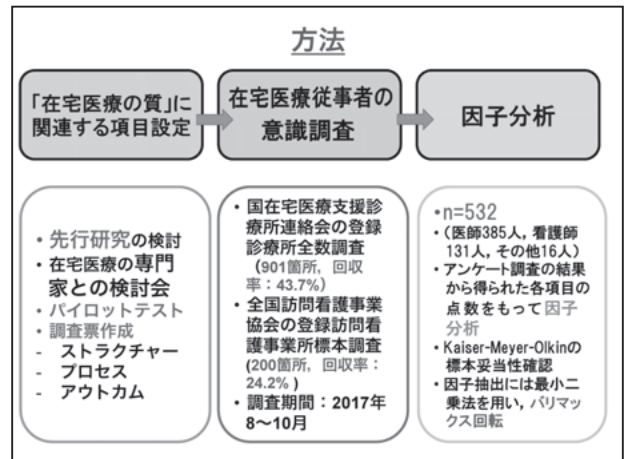
その結果をスライドに全部掲載することはできなかったもので、参考資料にこの意識調査の記述統計結果と因子分析の結果を示しております。もしよかったらご参照いただければと思います。

調査では、各調査項目について在宅医療を評価する上でどれくらい重要であるかということをお聞きしました。全く重要ではない=1点から、とても重要である=5点までのリッカート尺度を用いております。

ストラクチャーに関する項目は10項目調査しましたが、その中で最も高い点数を示したものは、『多職種によるチーム連携』が4.82、『地域の他の病院との連携(診療所と病院レベルでの連携)』が4.79でした。ストラクチャーに関する項目全体の平均は4.58でした。

プロセスとして医療介護行為に関する項目については、『サービス提供者の患者・家族とのコミュニケーション能力』が4.81、『看護師のスキル』が4.75と高い点数でした。項目全体の平均は4.67です。

ポスター 3



ポスター 4

結果 回答者の基本属性

| | 全体 | | 医師 | | 看護師 | | その他 | |
|----------|------------|-------|-----|-------|---------|-------|--------|-------|
| | 度数 | % | 度数 | % | 度数 | % | 度数 | % |
| 職種 | 医師 385 | 72.4 | | | 看護師 131 | 24.6 | その他 16 | 3.0 |
| 性別 | 男性 369 | 69.4 | 356 | 92.5 | 3 | 2.3 | 10 | 62.5 |
| | 女性 163 | 30.6 | 29 | 7.5 | 128 | 97.7 | 6 | 37.5 |
| 年齢 | 20代 3 | 0.6 | 0 | 0.0 | 1 | 0.8 | 2 | 12.5 |
| | 30代 40 | 7.5 | 19 | 4.9 | 15 | 11.5 | 6 | 37.5 |
| | 40代 128 | 24.1 | 71 | 18.4 | 55 | 42.0 | 2 | 12.5 |
| | 50代 188 | 35.3 | 136 | 35.3 | 46 | 35.1 | 6 | 37.5 |
| | 60代以上 173 | 32.5 | 159 | 41.3 | 14 | 10.7 | 0 | 0.0 |
| 現職年数 | 10年未満 95 | 18.7 | 60 | 16.2 | 29 | 23.8 | 6 | 37.5 |
| | 10-19年 117 | 23.0 | 85 | 22.9 | 27 | 22.1 | 5 | 31.3 |
| | 20-29年 153 | 30.1 | 102 | 27.5 | 47 | 38.5 | 4 | 25.0 |
| | 30年以上 144 | 28.3 | 124 | 33.4 | 19 | 15.6 | 1 | 6.3 |
| 在宅医療従事年数 | 10年未満 138 | 27.7 | 78 | 20.9 | 52 | 46.4 | 8 | 61.5 |
| | 10-19年 207 | 41.6 | 155 | 41.6 | 49 | 43.8 | 3 | 23.1 |
| | 20-29年 120 | 24.1 | 108 | 29.0 | 10 | 8.9 | 2 | 15.4 |
| | 30年以上 33 | 6.6 | 32 | 8.6 | 1 | 0.9 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 532 | 100.0 | 385 | 100.0 | 131 | 100.0 | 16 | 100.0 |

ポスター 5

在宅医療従事者の意識調査の記述統計の結果

| | 全体 n=532 mean±SD | 医師 n=385 mean±SD | 看護師 n=131 mean±SD | その他 n=16 mean±SD |
|----------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|
| ストラクチャーに関する項目 (0項目) | | | | |
| 多職種によるチームの連携 | 4.82 ± 0.43 | 4.79 ± 0.47 | 4.90 ± 0.30 | 4.94 ± 0.25 |
| 地域の他の病院との連携 (診療所と病院レベル) | 4.79 ± 0.44 | 4.77 ± 0.46 | 4.86 ± 0.35 | 4.75 ± 0.58 |
| 項目全体の平均 | 4.58 ± 0.63 | 4.52 ± 0.66 | 4.77 ± 0.46 | 4.73 ± 0.46 |
| 医療・介護行為に関する項目 (4項目) | | | | |
| サービス提供者の患者・家族とのコミュニケーション能力 | 4.81 ± 0.46 | 4.79 ± 0.46 | 4.91 ± 0.29 | 4.75 ± 1.00 |
| 看護師のスキル | 4.75 ± 0.53 | 4.69 ± 0.55 | 4.92 ± 0.27 | 4.75 ± 1.00 |
| 項目全体の平均 | 4.67 ± 0.57 | 4.61 ± 0.59 | 4.88 ± 0.34 | 4.67 ± 1.03 |
| サービス内容に関する項目 (3項目) | | | | |
| 患者・家族との信頼性の構築 | 4.88 ± 0.34 | 4.87 ± 0.36 | 4.96 ± 0.19 | 4.88 ± 0.34 |
| 家族の介護役割の把握 | 4.80 ± 0.43 | 4.78 ± 0.42 | 4.87 ± 0.46 | 4.88 ± 0.34 |
| 項目全体の平均 | 4.71 ± 0.49 | 4.66 ± 0.51 | 4.87 ± 0.36 | 4.79 ± 0.42 |
| アウトカムに関する項目 (8項目) | | | | |
| 在宅医療に対する患者の家族の満足度 | 4.69 ± 0.52 | 4.67 ± 0.52 | 4.75 ± 0.47 | 4.63 ± 0.72 |
| 在宅医療に対する患者の満足度 | 4.66 ± 0.56 | 4.64 ± 0.57 | 4.75 ± 0.50 | 4.63 ± 0.72 |
| 項目全体の平均 | 4.19 ± 0.75 | 4.11 ± 0.76 | 4.42 ± 0.67 | 4.28 ± 0.73 |

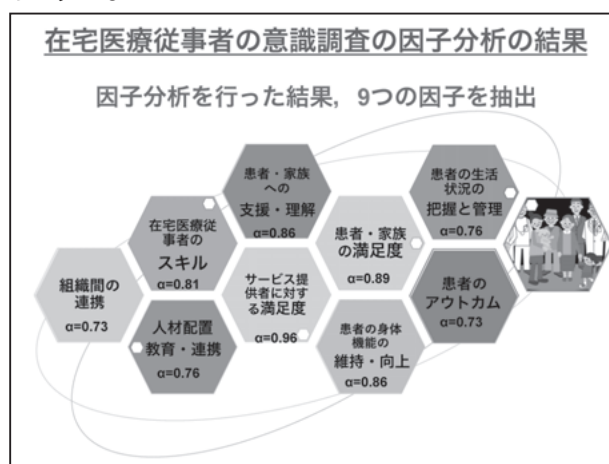
サービスの内容に関する項目は、『患者・家族との信頼性の構築』が4.88、『家族の介護疲弊の把握』が4.8でした。項目全体の平均は4.71です。

そして、アウトカムに関する項目は、『在宅医療に対する患者の家族の満足度』、そして『患者自身の満足度』が高い点数でした。項目全体の平均は4.19でした。

【ポスター6】

次に、在宅医療従事者の意識調査の因子分析の結果ですが、『在宅医療を提供するサービス者に対する満足度』と『患者・家族の在宅医療に対する満足度』など9つの因子が抽出されました。また、『患者の身体機能の維持・向上』に関する因子、『患者のアウトカム』に関する因子、『患者の家族への支援と理解』、『家族の生活の状況把握と管理』が在宅医療の特徴として得られました。そして、『在宅医療従事者のスキル』に関する因子と『在宅医療に関わる人材配置、教育・連携』に関わる因子、『組織間の連携』などが特に重要な因子として選ばれました。

ポスター 6



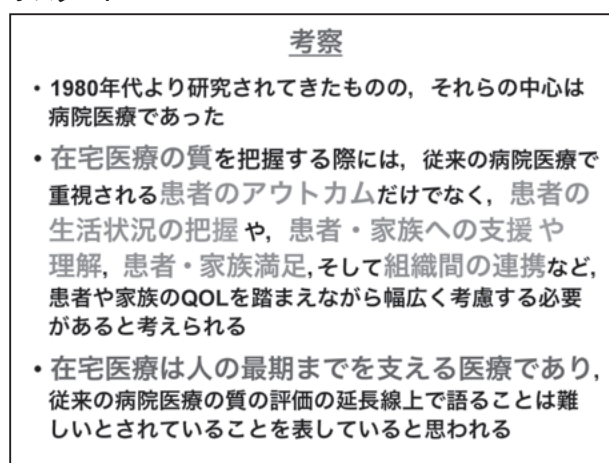
【ポスター7】

考察です。

医療の質の評価に関する研究は特に1980年代から行われておりますが、その中心は病院医療です。今回の研究の結果から、在宅医療の質を把握する際には、従来の病院医療で重視された患者のアウトカムだけではなく、患者の生活状況の把握や、患者・家族への支援・理解、患者・家族の満足、そして組織間の連携など、患者や家族のQOLを踏まえながら幅広く考慮する必要があると考えられます。

これは、在宅医療は人の最期までを支える医療であり、従来の病院医療の質の評価の延長線上で語ることは難しいとされていることを表していると思われま

ポスター 7



【ポスター8】

本研究は、在宅医療従事者に対する意識調査を基に、在宅医療の質の評価指標を検証しました。その指標の内容妥当性は検証されたと思われま

今後は、実際の取り組み状況を把握し、尺度開発など構成概念妥当性を検証する必要があると考えております。

【ポスター9】

まとめです。

在宅医療の質を評価する指標の開発に向けてアンケート調査を行い、在宅医療の質の評価項目を検討しました。

その結果、在宅医療の質を把握する際には、患者のアウトカムだけではなく患者や家族のQOLを踏まえながら幅広く考慮する必要があると考えられます。

ポスター 8

今後の課題

- 在宅医療従事者に対する意識調査をもとに、在宅医療の質の評価指標を検証
- その指標の項目の内容的妥当性は検証されたと思われる
- 今後は実際の取り組み状況を把握し、尺度開発など構成概念妥当性を検証する必要があると考える

国立長寿医療研究センターの倫理・利益相反委員会の承認を得て行った (No. 1054)

ポスター 9

まとめ

- 在宅医療の質を評価する指標の開発に向けて、在宅医療の従事者532名を対象として、在宅医療の質の評価項目に関するアンケート調査を行い、在宅医療従事者が重要であると認識している在宅医療の質の評価項目を検討
- その結果、9つの因子が在宅医療の質を評価するうえで考慮すべき項目として抽出
- 本研究の結果から、在宅医療の質を把握する際には、従来の病院医療で重視される患者のアウトカムだけでなく、患者の生活状況の把握や、患者・家族への支援や理解、患者・家族満足、そして組織間の連携など、患者や家族のQOLを踏まえながら幅広く考慮する必要があると考えられる

質疑応答

会場： 在宅医療というところ幅が広くて、先ほどの新村先生のご発表なども含まれてくると思うのですが、多分今回先生が発表されたのは、どちらかというと高齢者の在宅医療というところかなと思いついて伺っていました。もしそうならば、今回の調査の対象は医師と看護師だったのですけれども、それこそケアマネージャーさんなども必要ではないかと思つきます。ケアマネージャーさんたちから見る在宅医療のあるべき姿で、結構多職種連携が必要などところもあるかなと思つて聴いていました。項目の中にも、結構、介護系とかサービスのことも入っていましたので、今回どうして医師と看護師に絞られたのでしょうか。また、ケア

マネージャーさんとか他の介護系の職種の方の調査があるのならば、それと違いがあるのでしょうか。もしご存じなら。

鄭： ありがとうございます。すみません、2番目の質問をもう一回お願いします。

会場： 他の介護職の人のこういった調査があるのかどうか。あるいは、介護職の人から見た在宅医療についての意識調査のようなものがあったら、教えてください。

鄭： 今回は、全国医療支援診療所連絡会に登録されている診療所を対象にしましたが、特に看護師と医師のみに限定したわけではありません。訪問看護事業所に対しても看護師だけではなく関連職種の方でもよいということで調査を行いました。結果的に医師と看護師以外は16人のみ回答があったので分析対象から外しました。ケアマネージャーなどを対象とした研究は、わたしが知る限りはまだ行われていないかと思います。在宅医療の在り方とか医療の質に関する研究はあまり行われておりませんので、今回はまずは医師と看護師を対象にして調査を行ったという経緯です。

会場： ありがとうございます。